

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

寒剤供給価格の改定

前号でお知らせしたように、4月から各種高圧ガスの納入価格が上昇しました。液体窒素の価格上昇は1円弱/L程度に収まりましたが、ヘリウムガスは140円弱/m³ 値上がりしました。それに伴い、ヘリウムガスは4月より、液体ヘリウムは6月より供給価格改定を行います。5月中旬頃に開催する低温委員会で最終決定されますが、液体ヘリウム15円程度の値上げを検討しています。予定価格の詳細については、表1参照。

表1 平成20年度供給予定価格

期 間	4月 ~ 5月		6月以降	
	所内	所外	所内	所外
液体ヘリウム	265円/L	315円/L	280円/L	330円/L
液体窒素	45円/L	60円/L	45円/L	60円/L
ヘリウムボンベ (47L, 99.99%)	11,540円/本			

注：液体ヘリウム以外の価格については、決定価格です。

※回収率が上昇すれば液体ヘリウムの価格は下がりますので、引き続き回収率向上への皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

研究室巡視

3月27日より、液体ヘリウムを使用している研究室の巡視を行っています。この巡視では、**回収率向上の為に**回収ラインのチェックを中心に、装置や高圧ガスボンベの使用状況などを確認しています。

今回の巡視の結果は、各研究室の代表者と担当者に送付していますので、回収設備については巡視の際の**指摘事項**について**速やかに対処**して下さい。

また、この液化室による巡視は定期的に行っていますが、時間上の制約から装置の目視や担当者から話を聞くことくらいしかできず、前回の指摘事項が改善されていない研究室も見受けられ、あまり直接的な回収率の向上につながっていないようです。

回収率をさらに向上させるためには、巡視等に頼るだけでなくユーザー側の意識改革も必要です。

“回収に気を配りながら液体ヘリウムを使用するのは面倒だなあ”という意識もあるでしょうが、ユーザーの皆様も常日頃から液体ヘリウムの使用方法（トランスファーの仕方、装置からの蒸発ガスの回収など）に十分注意し、定期的な装置・回収ラインのチェック（気密試験、目視など）を行ってください。**安価で安定的な液体ヘリウムの為に、ご理解とご協力をよろしくお願いします。**

今後の予定

柏キャンパスで高圧ガス(ボンベ、寒剤等)を使用する為の講習会を行いますので、受講忘れの無いようにご注意ください。

- 4月15日～18日 保安検査前検査（高圧ガス設備の点検・検査を行います）
- 4月23日・24日 寒剤利用講習
- 5月 8日 高圧ガスボンベ利用講習
- 5月26日 保安検査（県庁による立ち入り検査） 供給制限有り

問い合わせ [E-mail:ekika@issp.u-tokyo.ac.jp 内線:63515]